

## 出資法人等評価・カルテシート (令和3年度分)

商法法人以外

## 1 出資法人等の概要

団体名	一般財団法人豊中市医療保健センター		
所在地	豊中市上野坂2丁目6番1号	所管部局・課	健康医療部 健康政策課
設立年月日	昭和49年3月27日	代表者	理事長 足立 佐知子
資本金等	10,000,000円	うち市出資額(率)	5,000,000円(50.0%)
設立目的	豊中市医師会、豊中市歯科医師会、豊中市薬剤師会及び豊中市の連携に基づき、豊中市の地域医療体制を確立し、もって地域住民の健康の維持及び福祉の充実に資し、公益の増進に寄与することを目的とする。		

## 2 役員・職員関係

各年4月1日現在

		R元			R2			R3		
		市職員	市OB		市職員	市OB		市職員	市OB	
役員	常勤	2	0	1	1	0	1	1	0	1
	非常勤	10	3	0	11	4	0	11	4	0
職員	常勤	54	0	0	10	0	0	9	0	0
	非常勤	126	2	1	80	2	0	81	0	0
役員の平均年間報酬 (R2年度、千円) ※常勤のみ		*			職員の平均年間給与 (R2年度、千円)・平均年齢 ※常勤のみ			7,203千円・49.8歳		

※非常勤職員には、非常勤嘱託職員である休日等急病診療等に従事する医療従事者を含む。

## 3 財務関係

損益計算書		金額(千円)		
		H30	R元	R2
	総収入	921,976	947,220	681,331
	(うち市受入金)	329,167	367,698	560,873
	総費用	995,420	1,115,465	493,361
	経常損益	▲91,372	▲60,801	186,047
	当期損益	▲73,444	▲168,245	187,970

貸借対照表		金額(千円)		
		H30	R元	R2
	資産の部合計	485,092	698,780	642,908
	負債の部合計	154,430	656,586	412,744
	(うち有利子負債)	0	0	0
	純資産	210,438	42,193	230,164
	利益剰余金	207,438	39,193	227,164

#### 4 市の財政的関与の状況

(単位：千円)

		H30	R 元	R2	主な内容、算出根拠等
フロー	補助金	—	—	—	
	事業費	—	—	—	
	運営費	—	—	—	
	委託料	117,796	103,677	274,589	休日等急病診療事業、障害者歯科診療事業、二重読影会事業他
	指定管理委託料	—	—	—	
	その他	211,371	264,021	286,284	負担金
計		329,167	367,698	560,873	
ストック	貸付金残高	0	250,000	250,000	
	債務保証残高	0	0	0	
	損失補償残高	0	0	0	
	出資金				
	その他	5,000	5,000	5,000	出捐金 5,000 千円のうち、1,500 千円が基本財産
計		1,500	251,500	251,500	

#### 5 経営の状況

##### (1) 出資法人等の主な事業

事業名	事業内容	活動指標	H30	R 元	R2
休日等急病診療事業	休日等における豊中市内の初期救急医療機関として、内科・小児科・歯科の診療を行う。	受診者数	6,326 人	6,494 人	1,819 人
障害者歯科診療事業	心身に障害があり、一般の歯科医院での治療が困難な患者を対象に歯科診療を行う。	受診者数	1,926 人	1,877 人	1,652 人
在宅ねたきり者等訪問歯科診療事業	在宅でねたきりの状態にあり、歯科医院への通院が困難な患者を対象に、居宅に訪問して歯科診療を行う。	受診者数	232 人	258 人	203 人
福祉・保健施設訪問歯科診療事業	豊中市内の福祉・保健施設に入所しながら歯科診療を必要とする患者を対象に、訪問歯科診療を行う。	受診者数	977 人	1,070 人	1,113 人

##### (2) 財務指標

指標	視点	内容	H30	R 元	R2
市受入金比率 市受入金／経常収益×100	自立性	市への財政的依存度を表わします。一般的に数値が低いほど、財政的に自立性が高いといえます。	36.4%	39.4%	82.9%
人件費比率 (%) 人件費／経常費用×100	効率性	数値が低いほど財務の弾力性が高いといえます。総支出における相談業務等のマンパワーが業務の中心となる団体については高くなる傾向にあります。	61.2%	57.9%	36.3%
管理費比率 (%) 管理費／経常費用×100	効率性	コスト体質を表すもので、一般的に数値が低いほど効率が良いとされます。	10.7%	9.1%	23.4%
正味財産比率 (%) 正味財産合計／(負債＋正味財産合計)×100	安全性	負債及び正味財産合計に対する正味財産合計の割合。自己資本の比率が高いほど資本構成が良く、経営の安全性が高いといえます。	43.4%	6.0%	35.8%
固定比率 (%) 固定資産／正味財産合計×100	安全性	正味財産合計に対する固定資産の割合。固定資産を返済不要な正味財産合計でまかなわれているかを表わします。100%未満であれば安全性が高いといえます。長期的な経営の安全性を示しています。	157.1%	786.5%	144.2%
流動比率 (%) 流動資産／流動負債×100	安全性	1年以内に返済を要する負債に対する1年以内に資金化できる資産の割合。数値が高いほど支払い能力が高いといえます。100%を下回る場合は注意が必要です。	205.5%	113.4%	544.2%

(3) その他

ア 給与体系

区分	<input type="checkbox"/> 独自体系 <input checked="" type="checkbox"/> 市の体系を準用 <input type="checkbox"/> その他 ( )
見直し予定	<input type="checkbox"/> 予定あり (      年度予定) <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 済み (●年●月)

イ 情報公開

公開ツール	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ (URL : http://www.tmhc.or.jp ) <input type="checkbox"/> 広報紙 <input checked="" type="checkbox"/> 事務所備え付け <input type="checkbox"/> その他 ( )
公開内容	<input checked="" type="checkbox"/> 定款 <input type="checkbox"/> 役員名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画 <input checked="" type="checkbox"/> 事業報告 <input type="checkbox"/> 経営計画 <input checked="" type="checkbox"/> 財務諸表

ウ 指定管理者の状況

施設名	指定管理期間	備考

6 経営上の課題

<ul style="list-style-type: none"><li>●地域医療におけるセーフティネットの役割を担う体制の維持に必要な、安定した財源の維持</li><li>●組織の自律的なマネジメントを維持するための次世代を担う人材の確保</li><li>●実施事業の改廃及び新規事業の開拓など、新たな収益機会の確保</li></ul>
---

7 経営改革の取り組み (令和2年度)

項目	取り組み内容	今後の課題・方向性
経営改善への取り組み	新型コロナウイルス感染症の流行に対し、豊中市の要請に応じ、三師会の協力を得ながら、適切に対応しました。これらの経験を踏まえ、改めて、当法人の医療に係る役割を強く認識し、新興感染症の発生時や大規模災害時の医療救護所の設置等に備え、迅速かつ適切な対応ができるよう診療機能に重点を置いた施設改修を計画しました。	初期救急医療機関としての当法人の役割を果たすべく、受診者等の利便性の向上を図るための、更なる施設や設備の充実が必要であると考えます。加えて、各種業務における作業等のデジタル化、IT化に組み込み、業務の効率化を図ってまいります。 また、令和2年度に計画最終年度を迎えた「経営改革プラン」につきまして、これまでの取り組み等を踏まえつつ、新たな方向性等の検討に着手してまいります。
事業・業務の見直し	かがやきの事業廃止により、小規模な体制となったことや、豊中市から受託実施していた市立庄内保健センターで実施する診療業務を、令和3年度から自主事業化し、2か所の診療所を運営すること等に伴い、総務部門と事業部門の事務業務における指揮命令系統を一本化し、一層の効率化を図るため、組織の見直しを行いました。 旧看護専門学校の校舎活用につきましては、本館部分に関しましては、診療機能	兼ねてより検討を重ねておりました、障害者(児)向けの健診及び予防接種につきまして、実施に向けた準備を進めてまいります。加えて、旧看護専門学校の校舎活用について、本館部分を診療機能に重点を置いた施設に改修するための設計委託費用を予算化しましたので、準備に取り組んでまいります。別館での「医療・介護・福祉の人材育成」に関する事業につきましては、引き続き、協働して実施する事業者と

	<p>に重点を置いた施設とするべく方向づけを行い、障害者（児）向けの健診等の実施について検討してまいりました。また、別館につきましては、「医療・介護・福祉の人材育成」に関する事業として、協働事業者からの提案に基づき、協働事業者が介護福祉士養成施設を開設するための準備に協力し、また、感染予防に関する啓発動画を製作し、直接的にも間接的にも人材育成に貢献するべく活動いたしました。</p>	<p>の協力、連携により、活動内容を充実させてまいります。</p>
<p>収益の確保</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の流行下においても、診療所事業では、感染防止対策に努め、事業を休止することなく、実施することができました。</p> <p>休日等急病診療事業においては、受診控え等による患者数の大幅な減少に伴う減収となりましたが、在宅ねたきり者等訪問歯科診療事業においては、昨年度に続き、安定した収入を確保することができました。また、感染症対策については、補助金等を活用し、財源確保に努めました。</p>	<p>引き続き効率的かつ安定的な運営に努めるとともに法人の設立趣旨を踏まえたうえで、新たな収益機会確保につながる持続可能な事業の検討を進めてまいります。</p>

8 出資法人等の自己評価

評価の視点	評価	今後の取り組み方針
<p>必要性</p> <p>・実施事業は、社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか</p>	<p>診療所の各事業は、豊中市域における休日の初期救急医療機関として、また、一般の歯科医院での治療や通院が困難な患者のセーフティネットとして、より充実が求められる状況となっています。</p> <p>また、今般の新型コロナウイルス感染症に対応した経験を踏まえ、三師会との協力、連携により、行政からの要請にも迅速かつ適切な対応を可能にすることや、災害時の医療救護所の開設が決定されたときの、開設場所となることが想定されることから、更に重要性が増すと考えられます。</p>	<p>診療所の各事業におきましては、今後も、患者数の動向に応じた適切な診療体制の確保など、効果的な医療を提供します。</p> <p>また、当法人の設立趣旨に則り、市民ニーズに合致した新規事業の絞り込みにも取り組んでまいります。</p>
<p>効率性</p> <p>・人的・物的な経営資源は有効に活用しているか</p> <p>・組織体制、人事給与水準は適正か</p>	<p>業務内容の精査を行い、適切な職員配置に努め、効率的かつ効果的な事業運営に取り組んでおります。</p> <p>人事給与制度につきましては、市に準じた内容となっておりますが、平成27年度を最後に、人事院勧告の実施を見送っており、給与制度に関しては、医療保健センターとして状況に応じ適正化に取り組んでおります。</p>	<p>引き続き人件費及び管理経費の見直しに取り組み、経費の節減を図ってまいります。</p> <p>当法人の規模に応じた組織体制や人事制度の構築をめざし、適正な人事給与水準についての精査を含め、新たな視点からの見直しを検討してまいります。</p>
<p>有効性</p> <p>・意図する成果に有効に結びついているか</p>	<p>設立の背景から、医師会、歯科医師会及び薬剤師会と有効に事業連携ができています。</p> <p>三師会、市との連携により、災害時における医療救護の拠点となり、地域のセーフティネットとしての役割を担うことも想定され、ますます重要となっております。</p>	<p>三師会、市との連携を一層強化し、地域医療の拠点の一つとして機能を高めてまいります。</p>
<p>総合評価</p>	<p>施設内に三師会の事務所があり、意思決定の拠点となっていることから、連携拠点として優位性を保っています。</p> <p>事業実施については、自己の施設、独自のノウハウ及びネットワークを活かし、安定的な体制を維持するとともに効率的に高いサービス水準を維持しています。</p>	<p>コロナ禍の先行きは未だ見通せず、集中豪雨等による自然災害が頻発しています。また、大規模災害や新たな感染症が発生することも想定される状況にあって、地域医療の確立が支える医療・介護分野におけるセーフティネット機能に対する市民の期待は、今後も増大することが見込まれます。</p> <p>さらに、社会情勢の変化から派生する新たな課題に備え、法人としての組織等のあり方を検討するとともに、安定的な運営に向け、マネジメント強化を図る必要があります。</p> <p>このため、これらの課題に対処できるよう体制を確保するとともに人材の育成に取り組めます。</p>

9 市による評価

評価の視点	評価内容	課題・方向性
<p>団体の存在意義 (必要性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出資目的は薄れていないか</li> <li>・市の施策の方向性に適合しているか</li> </ul>	<p>診療所の各事業は、豊中市の地域医療体制を確立し、地域住民の健康を維持する目的を踏まえ、豊中市域における休日の初期救急医療機関として、また、一般の歯科医院での治療または通院が困難な患者のセーフティネットとして、市民の健康を守るものとして重要です。</p> <p>また、有事の際には、緊急の医療救護施設としての運用も期待され、今後より一層重要な医療機関として位置付けられるものとなっております。</p>	<p>診療所施設の設備や備品の老朽化に加え、昨年度はコロナ禍による利用者数減が顕著となっており、今後どのようにサービスを提供するかが課題となっています。</p> <p>休日診療業務及び障害者歯科診療業務は令和3年度より医療保健センター自主事業として運営されているので、より充実した事業運営を念頭に、引き続き行っていただきたいと思ひます。</p>
<p>団体の活動領域 (効率性・有効性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出資法人等を活用するメリットはあるか</li> <li>・出資法人等にしかできないことか</li> </ul>	<p>施設内に三師会の事務局があることにより、地域住民の健康及び福祉の増進に寄与するための連携拠点となっています。</p> <p>また、医療と介護、福祉をつなぐ連携拠点としての機能も併せもって活動を行っており、自身のメリットを活かしながら事業を行っていると考えます。</p>	<p>今後も、三師会の事務局が施設内にあるメリットを活かし、地域住民の健康及び福祉の増進に寄与する連携拠点として、医療と介護福祉をつなぐ連携拠点として、活動を進めてもらいたいと思ひます。</p> <p>また、休日診療等自主事業実施による運営収入を活用するとともに、安定的なセンターの運営のため、更なる新規事業の開拓に向けた検討も引き続き行っていただきたいと思ひます。</p>
<p>団体と市との関係性 (効率性・有効性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果が市の施策の推進にどれだけ貢献しているか</li> <li>・市の関与は適切か</li> </ul>	<p>休日等急病診療、障害者(児)歯科診療事業により、地域住民の健康を守ることににより、第4次豊中市総合計画における「安全に安心して暮らせるまちづくり」の推進に寄与していると考えます。</p>	<p>引き続き、第4次豊中市総合計画における「安全に安心して暮らせるまちづくり」に寄与できるように、令和3年度より自主事業となった休日等急病診療、障害者(児)歯科診療事業の更なる充実を図ってもらいたいと思ひます。</p>
<p>総合評価</p>	<p>豊中市と三師会の出資による法人として、各々と協力しながら地域住民の健康と福祉を増進するために重要な事業を行っていることは、評価します。</p> <p>一方、自己評価にあるように人件費構造の再構築の必要性を意識して、人件費の適正化を図ることについてはまだ不十分であると考えます。</p>	<p>豊中市と三師会の出資による法人としてのメリットを活かし、今後も相互に連携を図りながら現行の事業だけでなく、他に何か自分たちにできることはないのかを考えて自主事業の開拓を進めてもらいたいと思ひます。</p> <p>今後、医療保健センターの安定的な財政運営を見据えた人件費の適正化に向け、具体的な対策について検討を行い、速やかに作業を進めるとともに、長期貸付金の返済も令和11年度より始まることから、返済計画の更新・見直しも念頭に財政改革を進めてもらいたいと思ひます。</p>